

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|------------|---|---|
| 家計 動向 関連 | 良くなる | その他飲食〔仕出し〕（経営者） | ・いよいよ間近となった愛知万博の開催、中部国際空港の開港に向けて、東海地域の消費は本格的に上向き傾向になる。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | ・愛知万博の開催まであと1年となり、人の動きが活発化し各部門で予約は増加する。 |
| | やや良くなる | 商店街（代表者） | ・オリンピックに向けて、デジタルテレビを中心としたデジタル家電商品の需要増が期待できる。 |
| | | 商店街（代表者） | ・商店街では新規店舗の開店がある。 |
| | | 一般小売店〔書店〕（経営者） | ・少しずつ上向いている。 |
| | | 百貨店（売場主任） | ・愛知万博、中部国際空港開業に向けて街は活性化する。 |
| | | 百貨店（企画担当） | ・競合店の増床や大型専門店の路面進出など競争環境は厳しくなっているが、街が活性化されマーケットも広がる。 |
| | | 百貨店（企画担当） | ・ヤング、キャリア層で春夏の新しいファッション商材が人気を博しており、数年ぶりに買換え需要が促進されそうである。 |
| | | 百貨店（外商担当） | ・客の購買意欲は上昇している。 |
| | | スーパー（店長） | ・静岡県で花博が開催されるため、県外からの来客により地元経済も活発になる。 |
| | | スーパー（総務担当） | ・販促活動によって良い影響が出ており、来客数は5%以上増加している。 |
| | | スーパー（経営企画担当） | ・各店舗の売上の上昇が今月に入ってから底固くなっている。 |
| | | 一般レストラン（スタッフ） | ・客単価に変化はみられないが、来客数は増加傾向にある。 |
| | | 観光型ホテル（スタッフ） | ・春のシーズン企画に対する予約が例年より良い方向で進んでいる。 |
| | | 都市型ホテル（支配人） | ・愛知万博が間近になり、環境が今より悪くなることはない。 |
| | | 都市型ホテル（スタッフ） | ・静岡県では花博が開催されるため、その需要が見込まれる。 |
| | | 旅行代理店（経営者） | ・若干ではあるが来客数が増加している。 |
| | | 旅行代理店（経営者） | ・昨年のSARSのような大きな影響はなく、今後は愛知万博、中部国際空港関係で人の動きは活発になる。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | ・SARSや鳥インフルエンザの懸念が払拭されたわけではないが、団体客の引き合いが例年より多い。特に欧州などの長距離の引き合いが多く期待できる。 |
| | | 旅行代理店（従業員） | ・単価はそれほどでもないが、旅行に行く客は確実に増加している。 |
| | 通信会社（企画担当） | ・通常は落ち込む2月を良い雰囲気過ぎており、これから上向いてくる。 | |
| | テーマパーク（職員） | ・現状が続けば、グリーンシーズンにもある程度の期待が持てる。 | |
| | ゴルフ場（経営者） | ・3か月先の予約状況は昨年より良く、ちまたでもゴルフの話が多くなっている。 | |
| | 変わらない | 商店街（代表者） | ・客の購買力や雰囲気はまだまだ不安定で、微妙なことで変化すると感じているが、以前と違って悪くなるだけではなく、良く変化する可能性も出ている。 |
| | | 百貨店（売場主任） | ・価格を下げて商品も動かないため、問題は価格ではない。客は買い控えを決め込んでおり、春物商品も動かない。 |
| | | 百貨店（企画担当） | ・ヤングの購買意欲は回復してきているが、購買の主力であるミセス層にやや元気がないように感じられる。 |
| | | 百貨店（経理担当） | ・法人関係の外商部門が伸びなければ景気が上向きとは言えない。 |
| 百貨店（販売促進担当） | | ・気温によって購買意欲の変動が激しいため、安定した売上傾向は見えていない。 | |
| スーパー（経営者） | | ・1～2月の来客数は増加しているが、販売量の増加には至っていない。今後の気候が例年通りで、青果や鮮魚が順調であれば、販売量は増加する。 | |
| スーパー（店長） | | ・客は珍しいものや話題商品に対しては購買意欲があるが、それ以外は低価格志向が継続している。 | |
| スーパー（店員） | | ・客の買物の仕方から判断すると、上向き傾向は今後も継続する。 | |

| | | | |
|--------|-----------------|--|---|
| | コンビニ（経営者） | ・必要な商品を安く最小限度で購入するためには労力を惜しまないという傾向は定着しているため、今後景気が回復してもこの傾向は少なくとも夏までは継続する。 | |
| | コンビニ（エリア担当） | ・競合店の出店で売上は厳しいが、米飯商品の売上が順調に推移している。 | |
| | コンビニ（エリア担当） | ・来客数は増加しているが、客単価は減少しているため、売上が前年を割る店舗が多い。 | |
| | コンビニ（店長） | ・客の購買意欲は相変わらず低下したままである。 | |
| | コンビニ（商品開発担当） | ・鳥インフルエンザやBSEなど食品に対して消費者は不安を感じているのが心配である。 | |
| | コンビニ（売場担当） | ・売上、単価とも伸び悩みの状況が継続する。 | |
| | 家電量販店（経営者） | ・デフレ傾向は続いており、消費者の財布のひもが固い状況は変わらない。 | |
| | 乗用車販売店（経営者） | ・引き続き個人客の動きは堅調である。ただし、法人客は依然として景気高揚感は薄く、動きが鈍い。 | |
| | 自動車備品販売店（経営者） | ・客単価や来客数の落ち込みに回復の兆しは見られない。 | |
| | 住関連専門店（店員） | ・身の回りでは報道で伝えられるような景気の動きであるが、購買の範囲や購入場所などで状況は異なっている。 | |
| | 住関連専門店（営業担当） | ・住宅ローン減税が延長となり若干増加が見込めるが、公共工事関係は減少していく。 | |
| | その他小売〔総合衣料〕（店員） | ・スーツなどでは低価格帯商品の販売ばかりが見込まれ、単価は低下する。 | |
| | 高級レストラン（スタッフ） | ・客単価が上昇しているため売上を確保できているが、来客数は横ばい基調であるため長続きはしない。 | |
| | スナック（経営者） | ・客が多くて座れない日があるかと思えばまったく客が来ない日もあり、この状況はしばらく続く。 | |
| | 都市型ホテル（従業員） | ・予約状況に変化はみられない。 | |
| | ゴルフ場（企画担当） | ・季節的に最高のシーズンとなるが、予算程度かそれを若干上回れば良いところである。休日の客入りは良いが、平日に多くの来客がないと景気回復とは思えない。 | |
| やや悪くなる | 商店街（代表者） | ・大型スーパーとの競争でますます厳しくなる。 | |
| | 一般小売店〔酒〕（経営者） | ・酒税免許の規制緩和によって競争は激化しており、既存店の倒産、閉店が相次いでいる。 | |
| | 衣料品専門店（企画担当） | ・消費をけん引するトレンドがファッション衣料品に見当たらない。 | |
| | 一般レストラン（経営者） | ・近くにコンビニが出店したため今後はティータイムや主婦をターゲットにしたメニュー作りを進めていくが、昼の売上に影響が出るのは必至である。 | |
| | 美容室（経営者） | ・競合店との厳しい状態が継続する。 | |
| | 理美容室（経営者） | ・客の来店サイクルが長くなってきている。 | |
| | 設計事務所（経営者） | ・規模の小さい物件が多く、将来の見通しが全く立たない。 | |
| | 住宅販売会社（経営者） | ・買い控えが続いており、値段を下げてでも売行きは悪いため、厳しい状態は今後も継続する。 | |
| 悪くなる | 住宅販売会社（業務担当） | ・住宅着工件数は伸び悩んでおり、中小企業では景気回復の実感はない。 | |
| | 商店街（代表者） | ・大型量販店の進出の影響が懸念される。 | |
| 企業動向関連 | 良くなる | - | |
| | やや良くなる | パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当） | ・製品値上げが取引先に浸透しており、若干良くなる。 |
| | | 化学工業（総務担当） | ・IT関連の取引先が増産体制を敷いている。 |
| | | 化学工業（人事担当） | ・為替レートが大きく変動しない限り、力強さはないものの着実に上昇していく。 |
| | | 窯業・土石製品製造業（経営者） | ・窯業界の景気の先行指数となる住宅着工件数が増加している。 |
| | | 金属製品製造業（従業員） | ・生産量の増加が見込める。 |
| | | 一般機械器具製造業（販売担当） | ・円安方向へ為替が動いているため、米国市場では製品の価格競争力に持ち直しが見られる。また、中国を始めとするアジア市場においても、日系を中心に自動車業界の設備投資が具体的になっている。 |
| | | 一般機械器具製造業（経理担当） | ・取引先企業の景気が良くなってきている。 |
| | | 電気機械器具製造業（経営者） | ・国内では設備投資などが回復基調にあり、海外向けも心配された急速な円高傾向が一息ついている。 |

| | | | |
|--------|-----------------------|---|---|
| | 輸送用機械器具製造業（経営者） | ・同業種でも受注の多い所と少ない所の格差は出ているが、全体としては緩やかではあるが回復基調である。 | |
| | 輸送用機械器具製造業（経理担当） | ・新製品の売行きを楽観視できる雰囲気である。 | |
| | 広告代理店（制作担当） | ・提案中の企画物が 少しずつ形になりつつある。 | |
| | 新聞販売店〔広告〕（店主） | ・各業種のチラシ件数が増えている。 | |
| | その他非製造業〔デザイン〕（経営者） | ・新商品に対する取扱希望の問い合わせが多数寄せられている。 | |
| 変わらない | 一般機械器具製造業（経理担当） | ・当面は好転するとは考えられず、更なる内部努力によって収益改善を図る必要がある。 | |
| | 輸送用機械器具製造業（工務担当） | ・生産計画が比較的高い水準で継続する。 | |
| | 輸送用機械器具製造業（統括） | ・受注先が、業績回復のために、下請に対して厳しい値下げ要求をさらにエスカレートさせてくる。 | |
| | 建設業（経営者） | ・施主側には依然として強いデフレ感があり、設備投資の環境は相変わらず厳しく、当面は採算面での好転は期待できない。 | |
| | 建設業（経営者） | ・工事件数が増加したとしても、単価が低いため利幅は薄い。この傾向は当分の間継続する。 | |
| | 輸送業（エリア担当） | ・一般の荷動きに若干の明るさが出てきている。しかし、輸送関連業種がやや良くなるのはもう少し先になる。 | |
| | 税理士 | ・勝ち組企業と負け組企業の差が一層顕著になってきている。勝ち組企業は着実に回復しているが、規模の小さい個人企業は停滞している。 | |
| やや悪くなる | 印刷業（営業担当） | ・前年と同水準が下回る計画となっている。 | |
| | 金属製品製造業（従業員） | ・このところ仕事が重なっているため、今後はその反動が来る。 | |
| | 電気機械器具製造業（従業員） | ・受注量が減少している下請業者が増加している。 | |
| | 広告代理店（従業員） | ・企業や自治体の来年度予算が今年度以上に厳しくなっている。 | |
| 悪くなる | 非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当） | ・販売価格が低下していく傾向が見受けられる。受注競争は一段と激しさを増している。 | |
| | 経営コンサルタント | ・売上の最低目標も達成できない店舗が出てきている。 | |
| 雇用関連 | 良くなる | 人材派遣会社（社員） | ・受注に対して登録スタッフが計画通りに集まらない状況である。今後は愛知万博や中部国際空港関連で一層の需要増加が見込まれる。 |
| | | 職業安定所（所長） | ・中小企業でも人手不足が起きており、求人募集する企業が出てきている。 |
| やや良くなる | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・人材採用、育成に関して企業からは積極的な意見をよく聞くため、今後も採用意欲は伸びていく。 | |
| | 求人情報誌製作会社（企画担当） | ・愛知万博や中部国際空港などの雇用が徐々に具現化しつつあり、雇用市場が活気づき始めている。 | |
| | 新聞社〔求人広告〕（営業担当） | ・求人の動きは昨秋以降少しずつ良くなっている。直近3か月の動きを見ると上昇カーブは大きくなっている。 ・これまでは軽雇用が中心であったが、最近は正社員募集も増えている。流通業など一部で厳しいところがあるものの、全体的には良くなっている。 | |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・求人件数の増加傾向は今後も続く。中堅企業でも2005年新卒を含め採用活動が活発化する。 | |
| | 職業安定所（職員） | ・繊維、木材・木製品製造など一部産業を除いて求人は増加傾向にある。 | |
| | 民間職業紹介機関（職員） | ・求人数は増加しており、正社員募集の求人も増えている。 | |
| | 学校〔大学〕（就職担当） | ・業務拡大や中長期の経営計画に基づく採用増がみられる。 | |
| 変わらない | 人材派遣会社（社員） | ・派遣のニーズに対してスタッフの供給が追いつかない状態は今後も続く。 | |
| | 人材派遣会社（社員） | ・製造業への派遣が解禁となるが、請負のパイは変化せず影響は少ない。 | |
| | アウトソーシング企業（エリア担当） | ・これまでの労働者の供給地域では、軒並み人材が枯渇している。求人需要はあっても供給が伴わない。 | |
| | 職業安定所（職員） | ・求人内容は派遣、パートなど請負形態が多く、雇用のミスマッチの状況は継続する。 | |

| | | |
|--------|---------------|--|
| | 職業安定所（職員） | ・対前月比で新規求人の増加率を大きく上回る新規求職者の増加がみられ、新規求人倍率は5か月続いた増加傾向から減少に転じている。 |
| | 職業安定所（管理部門担当） | ・有効求人倍率は平成4年12月以来の高水準となっているが、中高年については0.59と厳しく、ミスマッチも多い。 |
| | 民間職業紹介機関（経営者） | ・大手自動車関連メーカーの好業績に支えられ、今後もエンジニアを中心とした積極的な採用は継続する。 |
| やや悪くなる | - | - |
| 悪くなる | - | - |